



おかやま 地域づくり通信



第10回「おかやま協働のまちづくり賞」にて大賞を受賞した特定非営利活動法人岡山市子どもセンター

目次

- 1 「おかやま協働のまちづくり賞」受賞取組が決定しました！ → P2, 3
- 2 実施報告：市民活動リーダー養成講座 → P4
- 3 実施報告：地域活動リーダー養成講座 → P5
- 4 事業紹介：連携中枢コーディネーター派遣 / 課題解決ワークショップ → P6
- 5 「ESDコーディネーター研修」を開催しました！ → P7
- 6 助成金のお知らせ / 「第3次岡山市協働推進計画」が策定されます！ → P8

「おかやま地域づくり通信」は、岡山市民の「協働(※)」への理解と参加の促進を目的に、岡山市(ESD・市民協働推進センター)が発行する広報誌です。
※協働:同じ目的を達成するために、互いを尊重し、対等の立場で協力して共に働くこと

多様な主体の協働により、地域の社会課題解決を目指す優れた取組を表彰する「おかやま協働のまちづくり賞」。10回目となる今年は、「子どもと一緒に未来を描けるまちづくり」をテーマに、近年の子どもを取り巻く課題の解決に向けた取組を募集しました。岡山市内から12団体のエントリーがあり、市民によるインターネット投票と、11月に行われた審査会を経て受賞取組が決定しました。

大賞

プレーパークを通した子どもが豊かに育つまちづくり 【特定非営利活動法人岡山市子どもセンター】

団体紹介

2001年の法人設立から「子どもが豊かに育つ社会の実現」を目的に、子どもが「やってみよう！」ことに挑戦し失敗できる遊び場づくりに取り組みはじめて現在に至ります。未来を描けるまちづくりを子どもと共に、地域住民、行政、学校、企業等、多様な個人や団体と協働して進めています。



取組紹介

特定非営利活動法人岡山市子どもセンターが開設している「おかやまプレーパーク」では、子どもの自己肯定感と生きる力を育むことを目的に、子どもたちが常駐のプレーリーダーやボランティアなどと共に遊びを楽しんでいます。中には、参加者だった小学生が高校生や大学生、親になり、今度はボランティアとして参加してくれる人もいて、プレーパークの大切な担い手となっています。

また、プレーパークは子どもだけではなく、大人にとっても大切な居場所となり、子育て中の親の孤立を防ぐことにもつながっています。



特定非営利活動法人岡山市子どもセンターの美咲さんにインタビューさせていただきました！

Q. 「おかやま協働のまちづくり賞」大賞を受賞された時のお気持ちを教えてください。

「子どもが豊かに育つ社会の実現」を目指して長年続けてきたことを、評価して頂けたことは大変嬉しかったです。今後の活動へのエールを送られた気持ちにもなり責任も感じました。と同時に今までプレーパークに遊びに来てくれた子どもたちをはじめ多くの参加者、プレーパーク事業に関わって下さったボランティア、歴代のプレーリーダーをはじめ全てのみなさまのおかげだと感謝の気持ちでいっぱいになりました。



Q. 「プレーパーク事業」のアピールポイント(他の事業にはない特徴など)を教えてください。

プレーパークは、子どもの「やってみよう！」が実現できる場、自分らしく居られる場です。おかやまプレーパークは、いつでも誰でも行きたいときに行けるよう、当法人の自主事業として週5日の常設開催を17年間継続し、参加者は約25万人にもなります。支援される側、する側という関係ではなく、子どもと大人の関係もフラットです。岡山市プレーパーク普及事業等やプレーカーによる出張プレーパークを通してプレーパークを拡げ続けています。



Q. 今後に向けた課題や展望を教えてください。

プレーパーク事業の継続には、人材の確保、財政基盤の確立は必須です。その解決のためにも、多様な個人や団体と協働することがますます必要と考えます。今後、学校教育の現場にも「遊び」の重要性やプレーワークの考え方を広め、また外国にルーツがある子どもの支援にも力を入れていきたいと思えます。プレーパーク事業を通して、子どもも大人もみんなで「子どもが豊かに育つ社会の実現」を目指していきたいです。

大賞とあわせて、4団体が入賞、1団体が奨励賞に選出されました！
 今回エントリーいただいたすべての取組が、協働の力で「子どもと一緒に未来を描けるまちづくり」の実現を目指す、すばらしい活動でした。多数のエントリーをいただき、ありがとうございました。
 各取組の詳細は、ウェブサイト「つながる協働ひろば」(右記の二次元コード)からご覧いただけます。

▼「つながる協働ひろば」▼



第10回「おかやま協働のまちづくり賞」エントリー取組 (申込受付順)

① 「からふる」で地域と小学校(こども園)がスクラム
 【千種学区安全・安心ネットワーク】



⑦ **入賞**
 中学生が地域と自分の未来を描く場づくり
 【たけべ部実行委員会】



② **入賞**
 子どもをまんなかにした居場所と地域で子育てするまちづくり
 【特定非営利活動法人まんなか】



⑧ **大賞**
 プレーパークを通した子どもが豊かに育つまちづくり
 【特定非営利活動法人岡山市子どもセンター】



③ 親子クラブからつながる御津っ子のネットワーク
 【御津はちみつクラブ】



⑨ **奨励賞**
 岡山発！子どもたちが広げる点字ブロックからの優しい未来
 【認定特定非営利活動法人ヒカリカナタ基金】



④ **入賞**
 子どもたちの未来を支える思いやりの循環 (OMOIYARI LOOP)
 ~岡山ビューホテルが実践する協働まちづくり~
 【岡山ビューホテル】



⑩ 大学生による子どもの科学体験活動の提供
 【岡山理科大学 科学ボランティアセンター】



⑤ おむすびカフェ
 【Le Lien(ルリアン) ~難病児・障害児・医療的ケア児 家族と絆を紡ぐ居場所~】



⑪ **入賞**
 地域子育て支援事業「たねっこ」
 ~地域で子どもを育てる~
 【御南中学校区地域 支え合い活動実行委員会】



⑥ 広報仕分けは子どもと一緒に
 【中井子ども会】



⑫ IPU環太平洋大学 サステナブルブランドプロジェクト for Children
 -子どもと未来を描くウェルビーイング&PBLモデル
 【IPU環太平洋大学 サステナブルブランドプロジェクト】



12月 活動を協働にステップアップ！ ～はじめの一步を学ぶ勉強会～

近年では、地域社会の課題が複雑化しており、1つの団体の力だけで解決させることが難しいものも増えています。そこで求められているのが「協働」です。

本講座では、「これから協働に取り組んでみたい」という方を対象に、参加者が協働による活動づくりのきっかけをつかみ、活動のステップアップを図ることを目指して開催しました。

講師 高平 亮 さん（NPO法人岡山NPOセンター 代表理事）

当日の様子

前半の講座では、これまで岡山市で行われてきた協働事業の事例を取り上げながら、協働に至るまでの流れや、「当事者性・専門性・客観性」などの協働におけるポイントについて、高平さんに解説していただきました。

後半のワークでは、前半で学んだ協働のポイントを自分の団体に落とし込みながら、協働による事業計画案を作成しました。各自で案を作成した後は、グループ内や全体からお互いにアドバイスを出し合い、今後の活動をより広げていくためのヒントを獲得しました。

【参加者の感想】

改めて、行政との協働について考える機会となりました。想いが先行する活動者にならないよう、気を付けたいと思います。

【参加者の感想】

各自でのワークが実践的で、その前の講義もわかりやすく、今後の活動に落とし込んでいきたい。



12月 地域活動、はじめの一步！ ～『奉還町新聞』で伝えよう商店街の魅力～

高校生・大学生が地域で活動している団体の思いに触れたり、実際に活動を体験したりすることを通して、地域活動のはじめの一步を踏み出し、今後も継続的に地域活動やボランティア活動に取り組んでいくことを目指して開催しました。

講師 野村 泰介 さん（一般社団法人SGSG）

当日の様子

当日は、野村さんに団体の取組を紹介していただいた後、団体が作成した「奉還町新聞」を商店街周辺のお店や民家に配布しました。新聞を地域の方に手渡しする時に、新聞の内容や商店街のことについて語り合うなど、参加者が自ら積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿が印象的でした。

また、活動後は「明日から奉還町でできること」をテーマにブレインストーミングを行いました。参加者からは「高校生のバンドフェスを開催したい」、「将来のキャリアについて考えることができる場を作りたい」などの意見が出され、団体の方からも「ぜひやりましたよ！」と前向きな声をいただくことができ、今後の地域活動につながる1日になりました。

【参加者の感想】

自分になじみのある商店街で活動できて良かったです。より深く地域と関わるために、今後もたくさんの活動に参加したいです！

【参加者の感想】

地域活動に参加するのは初めてだったので新鮮だった。また参加してみたい。奉還町に来たのも初めてだったので楽しかった。



9月 地域活動、どこまでやるの！？ ～あそびの生まれる町内会～

岡山市では多様な地域活動が展開されている一方で、活動の担い手不足や高齢化が深刻な課題となっています。

本講座では、町内会をはじめとした地域活動団体が、定年退職者の地域参加を促すための工夫やアプローチの仕方について考え、「義務」ではなく「楽しさ」から始める地域活動のヒントを学びました。

講師 西川 正 さん
(NPO法人ハンズオン埼玉副代表理事/岡山県真庭市立中央図書館長)

当日の様子

当日は、地域活動における場づくりや人との関係のあり方について、講義とグループワークを通して考えました。前半の講義では、安心して過ごせる場があることで行動しやすくなることや、人との関係に“あそび”を持たせることで「もっとやってみよう」という気持ちが生み出されることが具体例とともに共有されました。

後半のグループワークでは、円形ダンボール「えんたくん」を膝に乗せ、これまで地域活動に関わる中で感じた違和感やしんどさを書き出しました。経験を言葉にすることで、課題を整理し、より参加しやすい場づくりについて考える時間となりました。

【参加者の感想】

今日も色々な気づきを得られました。自分の考えていたモヤモヤを言語化してもらえたように思いました。

【参加者の感想】

あっという間の時間。嫌だ嫌だと思わず、楽しみながらやりたいと思った。



1月 人が集まるしくみを学ぶ！ ～あなたの地域に合った“受け入れの形”を見つけよう～

本講座では「受け入れのしくみ」をテーマに、地域活動団体が新たな活動者を受け入れるにあたっての考え方や方法について学び、世代や立場などが異なる多様な人たちとともに地域を創り上げていくことを学びました。

講師 高山 和成 さん (一般社団法人ON-DO [オンド] 理事長)

当日の様子

当日は、地域の担い手づくりをテーマに、講義とグループワークが行われました。前半の講義では、若い世代は社会貢献への関心は高い一方、参加のきっかけが少なく、関わりづらさを感じている現状が示されました。また、小中高生から若手社会人まで、年代ごとの特徴を踏まえ、時間をかけて地域への愛着を育む担い手育成の考え方が紹介され、若手社会人へのアプローチが課題として挙げられました。

後半のグループワークでは、講義を踏まえた疑問をグループごとに整理しました。一部の班からは、地域行事で出会う若い世代とのつながり方について意見が出され、次の活動につなげる声掛けの工夫などが共有されました。

【参加者の感想】

学校で実施する奉仕活動等に卒業生なども声をかけてやってみようと思いました。

【参加者の感想】

若い人が参加しやすいように、今活動している世代が中心となって、役割を整理していきたい。



連携中枢コーディネーター派遣

岡山市では「協働のまちづくり条例」の改正以降、官民協働の円滑化・推進を担うコーディネーターの育成を進めています。「岡山連携中枢都市圏 市民協働コーディネーター派遣」では、岡山市の人的資源やノウハウを共有することで、連携中枢都市圏参加市町での課題解決の促進や人材・組織の育成に寄与することを目指しています。

コーディネーターには、①事業のコーディネート、②会議のファシリテート、③課題解決の実践指導(ノウハウ移転)、④課題解決の事例紹介などを依頼することができます。

活用事例（令和7年度）

【派遣先】久米南町 産業振興課

【コーディネーター】高平 亮さん（NPO法人岡山NPOセンター）

【内容】まちづくり支援事業についてのアドバイス、まちづくり研修会での講演(予定) など

【派遣先】総社市 あたたか市民部人権・まちづくり課

【コーディネーター】森田 靖さん（災害支援ネットワークおかやま）

【内容】防災に関する取組の相談、防災訓練における「避難所運営ゲーム(HUG)」の実施 など



派遣までの手順

①岡山市へコーディネーターの派遣を依頼する

ESD・市民協働推進センターまでお問い合わせください。

②コーディネーターの選定
事前の打ち合わせ

選定については、依頼者からの希望を優先します。

③コーディネーターの派遣

事業終了後は、報告書の提出をお願いしています。

課題解決ワークショップ



◀ 詳細は二次元コードから

地域や社会が抱える社会課題・地域課題について、年齢・職業・所属・価値観などを問わずさまざまな人が集まり、お互いの問題意識や情報を交換しながら協働による解決策を考える場です。

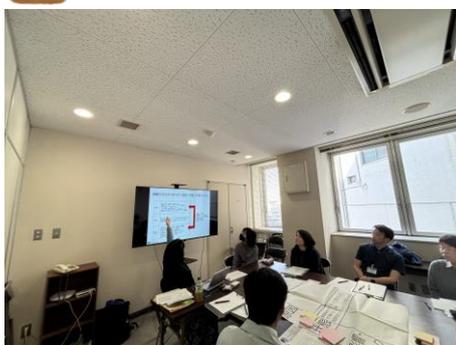
ワークショップでは、協議したい課題のテーマを設定し、「課題共有」→「課題分析」→「課題解決」の3つのステップを踏んで、具体的で効果的な課題解決のための協働の取組を検討します。

「一般社団法人Ai-care」からのご提案で課題共有ワークショップを開催しました！

～課題のテーマ～

重度障がいをもつ、子どもや親子がどこでも気兼ねなく出かけられる社会を目指す。その実現のために、気兼ねなく出かけられる「場」や「機会」をつくる(増やす)。

団体・行政・社会福祉協議会等の多様な主体の参加者とともに、課題の原因や現状の対応策などの意見を出し合いました。



ESDコーディネーター研修(企画書作成編)
～SDGsを視野に入れた地域づくりのために～



ESDコーディネーター研修
の詳細はこちらから

●ESDコーディネーター研修とは？

岡山ESDプロジェクトの重点取組の1つである「人材育成」の一環として実施されています。

「地域のためにこんなことをやってみたい。何から始めればいいのか?」「自分がチャレンジしたいことをみんなに伝えたいけど、なかなか伝わらない。どうしたらいいの?」「そもそもESDって?SDGsとの違いは何だろう・・・。」市民活動団体のスタッフ、企業のSDGs担当者、公民館職員など、社会をよりよくしたいと課題解決に取り組む多様な人たちが集まり、ESDについてみんなで考えながら、地域を舞台とした課題解決がより促進できるよう、学び合いや企画を考え、様々な人や団体をつなぐことができる人材(ESDコーディネーター)に必要な考えやスキルを身につける研修です。

令和6年度からは研修の修了生3名が「講師兼ファシリテーター」として参加し、受講生がより主体となり、自分たちの事業や取組のブラッシュアップ、新たなつながりを体験できるようにサポートを行っています。

●研修のねらい

わかる

持続可能を視野に入れた
グローバルな視点

つくる

ESD・SDGsの視点を取り
入れた企画書の作成

つながる

多様な主体との連携が
できる

●研修の流れ(令和7年度実施分をもとに一部抜粋してご紹介)

◆第1回研修◆

【セッション1:ESD・SDGsとは?】

- ・SDGs・ESDの意味や背景を対話形式で学習。
- ・ESDの視点を考える。

【セッション2:企画について】

- ・企画書の書き方を理解し、実践する。

【セッション3:Q&A】

- ・企画の悩みや研修のゴールについて共有。

【セッション4:ふりかえり・わかちあい】

◆第2回研修◆

【受講生の個別相談】

- ・1人1時間以内で企画書作成などの個別相談会を実施。
- ・2人の受講生と複数の講師スタッフがグループとなり、企画書へのアドバイスや意見交換を行う。
- ・自分が作成した企画書に対して意見を聞き、また他の受講生の企画書に感想や意見を発言することで、自分の企画書も多角的視点から見直しができるようになる。

◆第3回研修◆

【セッション1:企画意図シートの共有と学びあい】

- ・受講生全員によるシートの発表

【セッション2:企画の概要書づくり】

- ・企画のおさらいと概要書づくり
- ・不明な点や行き詰った場合は相談所を設けて個別に相談対応。

【セッション3:Q&A(弱音吐きタイム)】

- ・グループで質問を出し合い、全体で共有。特に悩んでいること、つまづいていることについては、全体で自分事として意見交換を実施。

◆第4回研修◆

【セッション1:企画発表会】

- ・作成した企画書を発表し、フィードバック(ESD・SDGs視点で「よかった点」「アドバイス・応援メッセージ」)を記入)

【セッション2:企画の見直し】

- ・フィードバックをもとに企画書の修正

【セッション3:全体総括】

受講生の声



ESDは実はかなり前から興味はありましたが、何度説明を見てもいまいち理解できずでした。今回、ちゃんと学べたことは本当に良かったです。



受講生の方々にフィードバックをいただき、「何がやりたいのか」「何のためにやるのか」が明確になりました。ここからのつながりによって新しい信頼関係ができ、次のステップの道が開けました。



「岡山ESDプロジェクト活動支援助成金」

「岡山ESDプロジェクト」に賛同し、岡山地域(岡山市及びその周辺)において市民のために幅広くESDを推進する活動を行う岡山ESDプロジェクト参加団体の事業に対して、より活動を充実させるため、予算の範囲内で、「岡山ESDプロジェクト活動支援助成金」を交付します。

申請の流れ

- ①初めて申請される団体や、申請方法等について対面での説明を希望する団体等の方は、「ESD・市民協働推進センター」(市民協働企画総務課内)にて事前相談を受けてください。
- ②事務局(岡山市 SDGs・ESD推進課)に助成金の申請を行う旨を事前連絡の上、必要書類を提出してください。
- ③審査会にて、提出いただいた申請書をもとに、助成の可否及び助成額を決定します。
- ④助成事業終了後、報告書などの必要書類を提出してください。

3月下旬～4下旬
募集期間
事前説明、個別相談なども受け付けます。

4月下旬～5月下旬
審査期間
審査会にて助成団体と助成金額を決定します。

6月～翌年2月末
助成対象期間
6月初旬に開催する岡山ESDプロジェクト登録団体の交流会にあわせて助成金を交付します。

～翌年3月上旬
事業報告
事業報告書・決算書を提出。清算を行います。

令和6年以前の事業報告等の詳細についてはこちらから▶▶



「岡山ESDプロジェクト」参加団体登録についてはこちらから▶▶
※助成対象となる団体は、岡山市ESDプロジェクト参加団体、または助成金の申請と同時に新たに参加団体へ登録する団体です。



「第3次岡山市協働推進計画」が策定されます！

【令和7年5月】
第3次岡山市協働推進計画
策定ワークショップ

【令和7年8月・11月】
岡山市協働推進委員会による
骨子案・素案の審議

【令和7年12月～】
パブリックコメントの募集

【令和8年2月】
岡山市協働推進委員会による
計画本案の審議

「第3次岡山市協働推進計画」成立！
(令和8年度～12年度まで実施)



昨年5月に開催した「第3次岡山市協働推進計画 策定ワークショップ」の後、岡山市協働推進委員会による審議や、岡山市民からのパブリックコメントの募集などを経て、「第3次岡山市協働推進計画」が策定されます。

これから5年間、岡山市で協働のまちづくりを進めていくにあたっての大切な指針となりますので、ぜひご一読ください。来年度以降、関係各所に冊子を送付する予定です。

「つながる協働ひろば」もご覧ください！

「つながる協働ひろば」では、岡山市内のイベントやボランティア情報、活動を支援する助成金情報を更新中です！

また、日ごろから地域で活動されている団体の活動内容や協働による取組も紹介しています！



ホームページ



Facebook



X

FacebookとXの
フォローもお待ちして
います！



【発行日】令和8年2月28日
【発行元】ESD・市民協働推進センター
〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1
岡山市役所 本庁舎2階 市民協働企画総務課内
TEL:086-803-1062 FAX:086-803-1872
E-mail:esd-smc@googlegroups.com